

令和元年度 第3回磐田市廃棄物減量化等推進審議会 会議録

【日 時】 令和2年3月16日（月）午前10時30分～

【会 場】 磐田市クリーンセンター 2階研修室

【出席者】 会 長 川島 あつ江
副会長 藤田 允
委 員 玉田 文江 稲垣 幸子
 今泉 佳代 宮地 浩
 伊藤 慎弥 寺田 辰蔵
 鎌田 俊己 門名 泰知
 田中 秀次

順不同（11名出席）

（欠 席 下鳥 和重、村上 ナオキ）

【事務局】 環境水道部長、ごみ対策課長、ごみ対策課長補佐、
ごみ対策課主幹、審議会担当職員2名

【会議概要】

1. 開会
2. 挨拶
3. 議事
 - （1）令和2年度一般廃棄物処理実施計画（案）について
 - （2）令和2年度の主な取り組みについて
4. 報告事項
 - （1）令和元年度の取り組みについて
 - （2）ごみ分別ガイドブックについて
 - （3）リサイクルステーションの移転について
 - （4）その他
5. 閉会

【意見・質疑の主な内容】

1. 開会

事務局 | こんにちは。磐田市ごみ対策課長の仲村でございます。本日はお忙しい中、審議会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。また、日頃は本市のごみの減量施策の推進にご理解とご協力をいただきまして厚くお礼申し上げます。それでは、ただいまより令和元年度第3回磐田市廃棄物減量化等推進審議会を開催させていただきます。はじめに環境水道部長よりご挨拶をさせていただきます。

2. 挨拶

環境水道部長 | それでは改めましてこんにちは。年度末のお忙しい時期にご参集いただきまして本当にありがとうございます。早いもので今回の委員の皆様様の任期2年が経とうとしております。特段のことがなければ、今回の審議会が最後ということになります。今までありがとうございます。おかげさまで本当にいろいろところで助けていただいたと思っております。また、次回も委員になっていただければありがたいですが、もしかしたらメンバーが変わることもありますので、またどうぞよろしく願いいたします。最後となりますが、本日も皆さんのお知恵をいただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

事務局 | それでは、審議会の進行については、磐田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例施行規則第25条第1項により、会長が議長となりますので、以降の議事の進行につきましては、川島会長よりお願いいたします。

議長 | 皆さんこんにちは。本日も熱心にご審議いただきますよう、よろしく願いいたします。それではお手元の次第に従いまして、会議を進めてまいります。まず磐田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例施行規則第25条第2項によりまして、委員の半数以上が出席しておりますので、本会議が有効に成立していることを、ここでご報告申し上げます。それでは次第に従いまして議事を進めます。

3. 議事

- (1) 令和2年度一般廃棄物処理実施計画（案）について
- (2) 令和2年度の主な取り組みについて
 《（1）～（2）を事務局より一括して説明》

- 議長 議事(1)、(2)につきまして、ご意見やご提案がありましたらお願いします。
- 委員 3ページのイ③使い捨てプラスチックについてですが、削減することはとても良いと思います。それに合わせて13ページの使い捨てプラスチックの削減のためのキャンペーンを推進されるようですが、市の関連施設に自動販売機がありますよね。そこで販売する飲料の中でプラスチックボトルがとても多いので、市自らアルミ缶に変えていくような取り組みをぜひ提案したいのですけれども、ごみ対策課からいっていただくのか、審議会のほうから提案するのが良いかわからないですが、市自らのプラスチックの排出削減を推進したいと思うのですがいかがでしょうか。
- 事務局 当然市の施設の中でもプラスチックボトルを使用した飲料用自販機を設置している施設もあります。改めて市民の方にご協力いただく以上、できる限りご協力いただけないかということをもまずは所管する課に話をしていきたいと思います。そこでの実情もありますので、それができるかどうか今の段階では申し上げられませんが、少なくとも市民の皆さんにご協力いただくことについては、市の姿勢としても同様にプラスチックボトルの削減について協力を求めていきたいと思います。
- 委員 福田地区では、6月の第1日曜日に河川美化運動で川の中に入ってごみ拾いを行っていますが、いわゆるプラスチック製品が非常に多いです。10月の第3日曜日に同じように海岸の美化運動をしますが、台風などの影響もあってプラスチック製品が非常に多いです。環境課や道路河川課と横の連携を図って、何かプラスチック削減を推進する啓発事業などの手立てを取っていただけるとありがたいです。
- 委員 13ページの事業系ごみの適正な排出方法の周知のガイドブックを作成するというので、私の会社にも事業系ごみをどうやって出せばよいかといった問合せが多いものですから非常に期待しています。できるとしたら何月頃に完成する予定でしょうか。
- 事務局 予定では、8月ごろまでには作成したいと考えています。収集業者さんにお渡しして配付することも検討していますので、またご協力をお願いいたします。
- 委員 もちろん、協力させていただきます。ありがとうございます。

- 委員 2 ページ、(c)マイボトルを追加したということでお話がありましたが、マイボトルの推進というのとはどのような意味でしょうか。量り売りのことでしょうか。
- 事務局 こちらのマイボトルの推進につきましては、量り売りのことではなく、外出するときにペットボトルを購入するのではなくて、なるべく家から水筒などの持参を推進することです。
- 委員 古着の回収や資源化を進めたいとお話がありますが、いそじ会の会員メンバーが生ごみを捨てるときに衣類を袋に入れて捨てているのをよく見かけて、とてももったいないと思っています。古着の資源化について、雑がみの回収と同じように、もう少しみんながわかりやすく啓発して欲しいと思うのですが、いかがでしょうか。
- 事務局 古着は、平日開設しているリサイクルステーションまたは日曜日に開設しているリサイクルステーションで回収を行っています。まだ、その他の場所で古着の回収を行っているところの細かい調査はしていませんが、紙類の回収と古着の回収の違うところは、民間の回収場所では古着の回収を行っているところが少ないことです。古着を回収しているところを調べて回収業者さんが紹介をして良いということでしたら、ご案内していきたいと思います。もう 1 点は、市民の方向けに、今一度古着を出せる場所があることをお知らせしていきたいと思います。
- 委員 先ほど河川清掃をされているとおっしゃられましたが、なぜ川とか海とかにごみが捨てられるのでしょうか。たぶんごみ箱を置くと家庭ごみを捨てる方がいらっしゃるので、ほとんどが撤去されてしまい、ごみ箱を置かないと、公園などにそのまま置いて行ってしまう人がいるのではと思います。家庭のごみをわざわざ川に捨てるような人はいないと思うのですが、そのようなごみが川まで流れて海洋汚染の原因になっていると思いますので、もし分かれば教えてください。
- 委員 海岸と川の話をさせていただいたのですが、基本的には川上から流れてくるごみがほとんどです。連携をとって欲しいと言ったのは啓発をしてもらいたいということで、私の家の近くの交差点にコンビニで買っていないのでたぶん夜とかに捨てられていて、そのような人達はごみ箱があってもなくても捨てていく人達で、今見ていると持って帰る習

慣というのが増えてきていると感じます。まだ、一部では平気で食べ終わったごみを捨てたり、信号待ちをしている間に捨ててしまう人がいて、道路等に捨てられたごみが川下のほうに流れ着いて溜まってしまおうと思います。先ほど連携をとって啓発していただきたいというのは、意識の問題だと思えます。

委員 一斉ごみ拾いは年に2回ありますよね。以前はたくさんごみがありましたが、最近を探すのも大変なくらい少なくなりました。そういう面では、ごみを捨てるような人は減ってきていると思えます。それから、ペットボトルなどのごみは川上の人への被害はあまりなく、川下の方が被害を受けてしまいます。全体的に見ると川や海岸もごみの量は以前より少なくなってきたと感じます。

事務局 いろいろとご意見ありがとうございます。委員が言われるように、活動に参加することで少しずつ意識を高めてもらったり、市の方でもアースキッズ事業で小学生に向けた環境教育に取り組んでいますが、その事業の中で子どもたちに理解をしてもらって、そういった大人にならないように、時間をかけて取り組んでいくしかないのかなと思っています。

議長 その他、ご意見、ご質問はございますか。

《意見・質問なし》

議長 すべてのご意見ご提案を組み込めるかはわかりませんが、実施計画に取り入れられるものは取り入れてください。続いて事務局からの報告事項に移ります。

4. 報告事項

- (1) 令和元年度の取り組みについて
- (2) ごみ分別ガイドブックについて
- (3) リサイクルステーションの移転について
- (4) その他

《(3)～(4)を事務局より一括して説明》

議長 ただいまの報告事項について、ご意見ご提案はございますか。

委員	ごみ分別アプリについてですが、アプリのメール登録は、年度が替わったら再度登録し直す必要がありますか。
事務局	メールなどは自動更新になっていますので、年度ごとに登録し直す必要はありません。
委員	先ほどの説明の、ごみ出し支援だけでは生活支援にならないというのは、福祉部門の方針なのかというところをお聞きしたいです。また、ごみ分別ガイドブック 15 ページの割れたガラスなどの出し方は、ガイドブックが分かりやすくなって非常に助かったのですが、蛍光管を買ったときに買ったケースが一番移動に安全だと思って、薄い段ボールに入れて出したら地域の衛生委員さんはだめだと言います。15 ページの写真を見ると確かに段ボールはだめとなっていますが、買ったケースに入れて出すのが一番安全だと思います。良いという声もあれば、ガイドブックではだめとなっているのではっきりしておきたいです。また、ごみ対策課に問い合わせるとすごく親切に教えてくださるのですが、地域の衛生委員さんが非常に使命感を持って厳しくされています。例えばビンなんかもほんのちょっと色がついているだけで「その他」の色だということで、すごくきちんとやっていただくのはありがたいですが、そこまでガイドブックで読み取ることはできず、地域の衛生委員さんによって理解の仕方が違うのかなと思います。例えば全自治会のごみ担当の人たちを対象にした説明会みたいなのができれば、また、それが難しいようでしたら、問い合わせに関する詳細のようなものを書き出したものを配るなど、市と地域の人との説明が異なっている部分がありますので、その辺をなんとか考えて欲しいなと思います。それから「食べきりレシピ」は広報などにのせましたか。欲しいです。
事務局	回答が前後してしまいますが、食べきりレシピはホームページ上に掲載させていただいています。1 点目のごみ出し支援については、私たちの説明の仕方が悪く申し訳ありませんでしたが、ごみ出しだけでは支援にならないというのは、生活全般を支援していく中で、ごみだけを収集するというだけでは、その方の支援としては足りないという意味でお伝えしたくて、あくまでも生活されていく中でお困りの方の中のごみだけの部分を戸別収集しても、その方の身の回りの支援が全部できるわけではないという意味でその言葉を使ってしまいました。以前視察へ行かせてもらった御殿場市などは、福祉のセクションで生活支援を行っていて、私どもはごみの部署でごみ出しの支援

を考えているのですか、他市ではその方自身の生活を支援するという考え方で声をかけて、必ずその方の直接手渡しでゴミをもらい、その方の様子を伺うなど、ゴミの収集と声かけのセットで支援を行っていました。そういった現状があったため「ゴミだけでは」という表現になってしまい申し訳ありませんでした。あと、蛍光管については、ガイドブックの14ページに少し書かせていただいています。基本的には包装箱に入れていただいても回収してくるということで、収集業者は承知しています。ただ、地域の衛生委員さんに一生懸命やっただいておまして、委員ご指摘のようにその方によって取り組みの熱意が違うという現状があることも十分承知をしております。中々すべての方に一律に基準を設けるというのは難しいと思っておりますが、例えば今のようなご質問や、地域で聞いた話とごみ対策課の意見が違うということも中にはあると思いますので、こういった形になるかわかりませんが、今一部ガイドブックやホームページにも掲載している市民からの問合せに関するQAに、細かい部分について追加していくような形でご案内できればと思っております。

委員 生活支援の中でゴミ出しは非常に必要なことだと思うので、他の支援と一緒になくても良いといった主張はして行って欲しいと思います。

委員 ゴミ分別ガイドブックの雑がみのところですが、今までお酒のパックは雑がみだと思って出していたのですが、「特殊加工がされているので可燃ごみへ」と書いてあって、私の考えとは違ったのでびっくりしました。随分細かく雑がみ事典に記載されていて、詳しい反面ちょっと雑がみを出すのが大変になったというのが率直な意見です。

事務局 こちらに書かせていただいている酒の紙パックは、銀色のアルミの加工がされている酒の紙パックを想定して記載させていただいているので、銀色のアルミがないもので通常の牛乳パックと同じようなものでしたら、牛乳パックと同じようにリサイクルしていただけます。

委員 この記載だけではわかりませんよね。いずれにしても、ガイドブックをよく見て分別させていただきますが、なかなか大変になったというのが率直な意見です。

議長 その他、ご意見、ご質問はございますか。

《意見・質問なし》

議 長 | 以上ですべての審議は終了いたしました。それでは事務局にお返しします。

7. 閉会

事務局 | 本日は、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。今年度最後の会議となりましたが、委員の皆様の任期は6月末までとなっておりますので、ご意見・ご提案がありましたらお手元にお配りしている意見・提案シートにご記入の上、事務局へ提出をお願いいたします。以上をもちまして、本日の会議終了致します。ありがとうございました。